

心の国境をなくそう！ Free your heart of borders!

Saga
Prefecture
International
Relations
Association



佐賀県国際交流協会年報

2024年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会

CONTENTS

協会概要	02
役員名簿	03
主な取り組み	04
事業年表	05
事業実績	06

A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）	06
情報収集・提供	06
日本語教室支援	06
日本語ボランティア研修会	07
SPIRA日本語スピーチコンテスト	07

B 生活支援

在住外国人生活支援	08
• 生活相談・専門家相談	08
• 健康相談	08
• 医療通訳	08
子ども日本語学習サポーター等派遣	09
災害対応	10

C 多文化共生の地域づくり

国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）	11
地球発見隊出前講座	11
多文化共生セミナー	12
ボランティア啓発・推進	12
多文化共生等助成事業	13
SPIRAさが国際フェスタ	14
Sagan World Cup 2024 フットサル大会	15
多文化共生情報発信事業	15
佐賀県国際交流プラザ運営事業	15

さが多文化共生センター

• 生活相談	16
• 専門家相談	16
• ウクライナ避難民生活支援	16

その他の協会事業

職員による研修・事例発表等登壇実績（2024年度）	17
インターンシップの受入	17
国旗の貸出	17

賛助会員

賛助会員募集	18
--------	----



公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要



Saga
Prefecture
International
Relations
Association

SPIRAのシンボルマーク
「手をつなぎ、楽しくコミュニケーションする人と人。緑は佐賀平野、赤はお互いの熱意、青は世界に広がる海のイメージです。」

佐賀県国際交流協会（SPIRA）は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、1990年に設立されました。（2013年4月1日から公益財団法人へ移行）

設立から35年が経過し、設立時には1,700人程度だった外国人数は、昨年7月について1万人を超えました。また、この間に活動の柱は、「国際交流」から「多文化共生」へ大きくシフトしました。

SPIRAでは、「Free Your Heart of Borders！心の国境をなくそう！」をスローガンに、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりのためのさまざまな事業に取り組んでいます。

このような活動が認められ、全国の国際文化活動を顕彰する2024年度国際交流基金地球市民賞をSPIRAが受賞いたしました。これもひとえに、これまでSPIRAの活動に関わっていただいているみなさまのご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

これからもみなさまと一緒に、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。



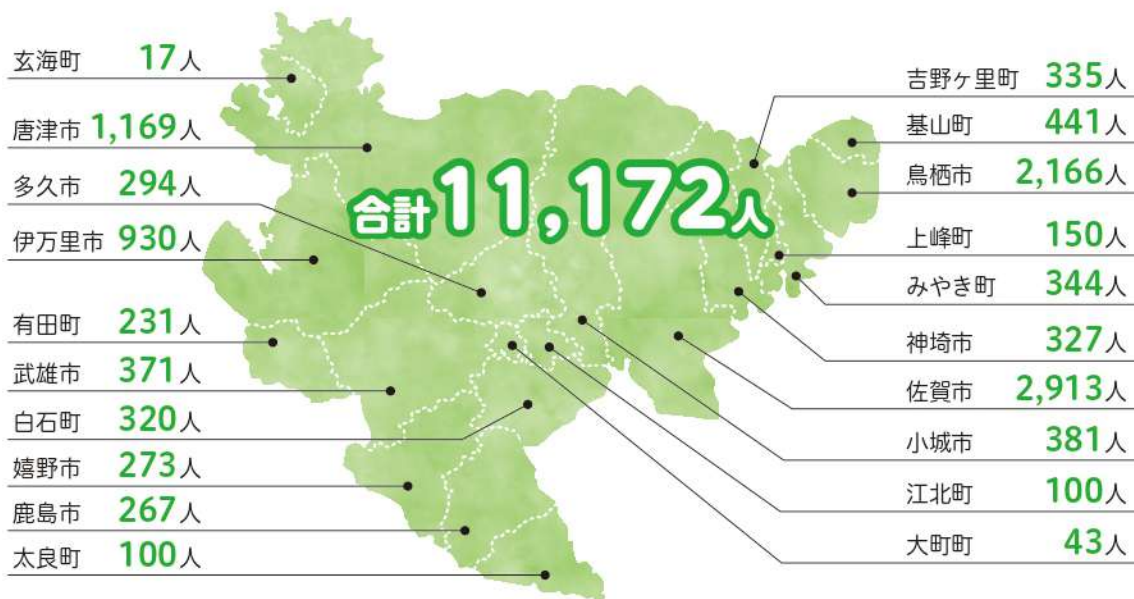
「SPIRAの3つの基本方針」

1. 多文化共生の地域づくりの推進
2. グローバル人材の育成及び国際交流団体等の活性化
3. 多様な主体との連携・協働

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

（暫定値）

※2025年1月1日現在佐賀県多文化共生さが推進課調べ



役員名簿

(2025年3月末日)

評議員 [12名]

役職名	氏 名	団 体 名・職 名
評 議 員	三島 伸雄	国立大学法人佐賀大学 副学長
評 議 員	今村 盛史	佐賀県商工会連合会 専務理事
評 議 員	西岡 剛志	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評 議 員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評 議 員	山崎 日出男	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評 議 員	草場 義樹	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評 議 員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評 議 員	山口 七重	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評 議 員	白濱 百合子	佐賀生活文化交流会 代表
評 議 員	西岡 豊	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評 議 員	前島 梅子	日本語ネットワーク佐賀 代表
評 議 員	西浦 聡子	佐賀県地域交流部多文化共生さが推進課 課長

理 事 [11名]

役職名	氏 名	団 体 名・職 名
理 事 長	黒岩 春地	公益財団法人佐賀県国際交流協会 事務局長
副理事長	引馬 誠也	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	横尾 俊彦	佐賀県市長会 理事
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
副理事長	古園 裕久	佐賀県商工会議所連合会 専務理事
理 事	嘉村 直樹	佐賀県教育委員会事務局 副教育長
理 事	川崎 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理 事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理 事	中尾 清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理 事	吉村 俊造	株式会社 サガテレビ 会長
理 事	廣瀬 伸恵	特定非営利活動法人地球市民の会 事務局次長

監 事 [2名]

役職名	氏 名	団 体 名・職 名
監 事	片渕 義孝	佐賀県市長会 事務局長
監 事	今村 早人	佐賀県商工会連合会 事務局次長

主な取り組み

A. コミュニケーション支援

在住外国人支援団体との連携により地域情報を多言語化およびやさしい日本語化し、行政・生活情報の提供を推進しています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（やさしい日本語版）
- ・日本語教室支援
- ・SPIRA日本語スピーチコンテスト
- ・日本語ボランティア研修会



B. 生活支援

医療、保健、福祉、教育等様々な相談を受け、関係機関との連携により対応しています。また、災害に備え外国人を対象にした防災訓練や、災害多言語支援センターの運営準備にも力を入れています。

- ・在住外国人生活支援
 - 生活相談・専門家相談 ●健康相談 ●医療通訳
- ・子ども日本語学習サポーター等派遣
- ・佐賀県災害多言語支援センターの活動
- ・外国人のための体験型防災セミナー



C. 多文化共生の地域づくり

日本人も外国人も対等な暮らしやすいまちづくりを目指し、地域社会に対する多文化共生の意識啓発や、外国人住民の自立と地域社会への参画をサポートしています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- ・地球発見隊出前講座（多文化共生理解出前講座、国際協力理解出前講座）
- ・多文化共生セミナー
- ・ボランティア啓発・推進
- ・多文化共生等助成事業
- ・SPIRAさが国際フェスタ
- ・多文化共生情報発信事業（えびすFM）
- ・佐賀県国際交流プラザ運営事業

さが多文化共生センター

その他の事業

- ・インターンシップの受入
- ・国旗の貸出

SDGsとは？

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind.）ことを誓っています。

多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを言います。

（出典：多文化共生の推進に関する研究会報告書）

事業年表

2024 5.17～2025.3.21 入管手続相談会（全6回）

5.27 (公財)佐賀県国際交流協会2024年度 第1回 理事会

6.11 (公財)佐賀県国際交流協会2024年度 評議員会

6.12 災害多言語支援センター設置訓練（1回目）

6.29～9.6 医療通訳スキルアップコース

7.28 多文化共生セミナー

9.29 第9回 SPIRA 日本語スピーチコンテスト

11.24 2024 SPIRA さが国際フェスタ



12.15 Sagan World Cup 2024 フットサル大会開催

12.17 災害多言語支援センター設置訓練（2回目）

2025 1.18～2.20 日本語学習サポーター等養成講座(日本語ボランティア研修会+子ども日本語学習サポーター養成講座)

2.9 外国人のための体験型防災セミナー(小城市)

2.16 外国人のための体験型防災セミナー(多久市)

3.25 (公財)佐賀県国際交流協会2024年度 第2回 理事会

A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）

佐賀での生活に役立つ情報や、県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、情報の提供を行いました。

全カラー2ページ2,000部 年2回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体、教会、エスニック料理店等



情報収集・提供

インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるよう整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebook、LINEを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援



外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。

県内の日本語教室（2024年度）

市町	グループ名	市町	グループ名
佐賀市	にほんごすいもく 水ようび	伊万里市	日本語教室いまり
	にほんごすいもく 木ようび		Awesome IMARI
	どようび日本語in SAGA	武雄市	たけお日本語教室
	日本語ネットワーク佐賀	鹿島市	かしま日本語教室
	国際コミュニケーションネットワーク かけはし	小城市	おぎ日本語教室
	外国人のための日本語サークル ラポール	嬉野市	カフェこくさいじん
	はなすくらす 久保泉	神埼市	神埼日本語教室
	はなすくらす 春日	吉野ヶ里町	meet up よしのが里
唐津市	唐津日本語教室	基山町	基山にほんごひろば きやまっち
	にほんご晴	みやき町	みやき町日本語ひろば ～ちかっくにほんご～
鳥栖市	とすにほんごひろば ～とりんす～	有田町	日本語教室 in Arita
	日本語教室あいうえOh!	白石町	しろいし Wa!Wa!Wa!
多久市	多久日本語教室		



〔2024年度補助金交付実績 11団体〕

日本語ボランティア研修会



これから日本語ボランティアを始めたいと考えている方や学びなおしを目的とする方を対象とした講座を行うことで、今後の日本語教育の活動者につながる人材を育成するとともに、活動中のボランティアも共に教室のあり方・活動を考える場を提供することを目的とし実施しました。

昨年度に引き続き子ども日本語サポーター養成講座と合同で複数回実施しました。

第1回（公開講座）

テーマ	事例から考える！日本語学習支援×多文化共生
日時	2025年1月18日（土） 13：00～15：00
会場	佐賀商エビル7F 会議室A.G （公財）北九州国際交流協会
講師	地域日本語教育総括コーディネーター 外国人支援担当主任 矢野 花織 氏
参加者数	30名



第2回

テーマ	佐賀県の日本語教室の現状、ボランティアとして活動するために知っておきたいポイント
日時	2025年1月23日（木） 13：00～15：00
会場	佐賀商エビル7F 会議室A.G
講師	佐賀県多文化共生さが推進課 日本語コーディネーター 市丸 佳代子 氏
参加者数	21名



第9回 外国人による日本語スピーチコンテスト



佐賀市国際交流協会との共催により開催。青少年部門6名、成人部門16名の計22名の日本語学習者が日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。

日時	2024年9月29日（日） 13：00～17：00
会場	エスプラッツホール （佐賀市文化交流プラザ交流センター内）



B 生活支援

在住外国人生活支援



生活相談・専門家相談

生活相談・専門家相談については「さが多文化共生センター」p.16をご覧ください。



健康相談

例年済生会唐津病院と連携し、佐賀県国際交流協会で健康相談会をおこなっていました。今年度はより地域に根付いた活動になるよう、済生会唐津病院の医療ソーシャルワーカーの方と一緒に唐津市内の地域日本語教室を訪問したり、教室の学習者向けに済生会唐津病院の保健師の方に健康講座（インフルエンザについて）をしていただきました。

医療通訳

外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等（57箇所）へ延べ228件（うち英語184件、中国語12件、ベトナム語26件、ウクライナ語4件、韓国語2件）派遣しました。

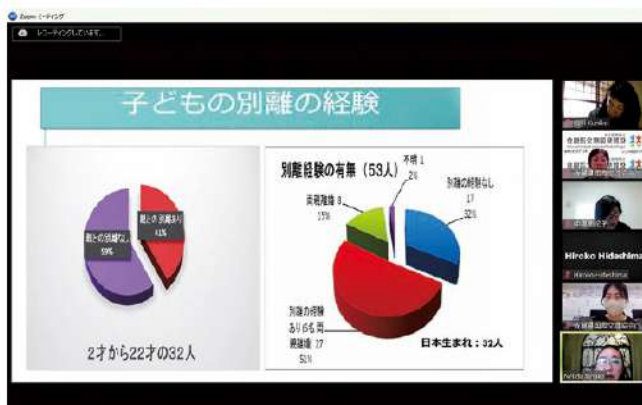
また、医療機関に働きかけて、多言語通訳コールセンターの案内と一層の利用を促しました。



医療通訳サポータースキルアップコース

日程 2024年6月29日（土）～2024年9月6日（金）（言語別全5回）

講座内容・講師	全言語共通：
	「外国人のこころの支援」 公認心理士・臨床心理士 田中 ネリダ 氏
	「ピア・ラーニングで考えるサポーターのメンタルヘルス～寄り添う対人援助者通訳者の役割を考える」 医療通訳者研究会 代表：村松 紀子 氏
参加者（延べ人数）	言語別演習：
	・英語 一般社団法人 全国医療通訳者協会（NAMI）代表理事 森田 直美 氏
	・中国語 北京・ニーハオ中国語センター 蔣晶 氏 ・ベトナム語 Bui Thi Thu Sang 氏
全言語共通講座 延べ41人 講座受講（英語）11名 （中国語）3名 （ベトナム語）2名	



子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小・中学校に通う外国につながる持児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小・中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。



活動内容

- ①子ども日本語学習サポーター：児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート
- ②子ども通訳・メンタルサポーター：児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳・母語でのメンタルケア

2024年度 派遣実績

子ども日本語学習サポーター	26件（255時間）	小学校16校、中学校1校
子ども通訳・メンタルサポーター	15件（21.5時間）	小学校6校、中学校4校、高校1校

子ども日本語学習サポーター養成講座

2024年度の講座は、p.7の日本語ボランティア研修会と併せて実施しました。

第1回（公開講座）

テーマ 事例から考える！日本語学習支援×多文化共生
日時 2025年1月18日（土）13:00～15:00
会場 佐賀商エビル7F 会議室A.G
講師 （公財）北九州国際交流協会
 地域日本語教育総括コーディネーター、
 外国人支援担当主任 矢野 花織 氏
参加者数 30名

第2回

テーマ 外国につながる子どもが抱える課題とは
日時 2025年1月30日（木）13:00～15:00
会場 佐賀商エビル7F 会議室A.G
講師 久留米大学 外国語教育研究所 准教授
 デイヌーシャ・ランブクピティヤ 氏
参加者数 28名

第3回

テーマ 教科学習につなげる日本語指導
日時 2025年2月6日（木）13:00～15:00
会場 オンライン（Zoom）
講師 東京学芸大学 教授 齋藤 ひろみ 氏
 准教授 原 瑞穂 氏
参加者数 37名

第4回

テーマ 子どもの日本語学習支援の方法
日時 2025年2月14日（金）13:00～15:00
会場 佐賀商エビル7F 会議室A.G
講師 佐賀県日本語学習支援“カスタネット”、
 宮崎国際大学 准教授 早瀬 郁子 氏
参加者数 22名

第5回

テーマ 実践例から学ぶ日本語指導
日時 2025年2月20日（木）13:00～15:30
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
講師 とよなかJSL 田中 薫 氏
参加者数 27名





2024 災害対応と佐賀県災害多言語支援センターの活動

投稿 基本データ 写真 その他 ●

公益財団法人 佐賀...

投稿 基本データ 写真 その他 ▼

公益財団法人 佐賀県国際交流協会



【やさしい日本語】

大雪(おおゆき)や寒波(かんば)の時(とき)の注意点(ちゅういてん)

2025.2.5 < 9:10 AM >

大雪(おおゆき)(雪(ゆき)がたくさん降(ふ)ること)や寒波(かんば)(急(きゅう)にととても寒(さむ)くなること)の時(とき)は、道(みち)が滑(すべ)りやすくなったり、電車(でんしゃ)などが止(と)まることがあります。外(そと)に出(で)ることはやめてください。

もし、外(そと)に出(で)るときは、雪(ゆき)で滑(すべ)らないように、

○滑(すべ)らない靴(くつ)を履(は)いてください
○両手(りょうて)が使(つか)えるように、荷物(に)

もつ)はリュックサック(背負(せお)うかばん)に入
(い)れてください

○歩(ある)く時(とき)は1歩(ほ)の長(なが)さを短(みじか)くしてください

○靴(くつ)の裏(うら)を全部(ぜんぶ)つけて歩(ある)いてください

○いつもより歩(ある)くのに時間(じかん)がかかります。約束(やくそく)の時間(じかん)に間(ま)に合

(あ)うように、早(はや)く出(で)かけてください
屋根(やね)など高(たか)い所(ところ)から雪(ゆき)

$$1^2 + 1^2 + \dots + 1^2 = 1 + 1 + \dots + 1 = n \quad \text{--- 1st case}$$

ကိုလည်း သတိထားကြပါစို့။

နှစ်ဘီးတပ်ယာဉ် (ဆိုင်ကယ်၊ စက်ဘီး) သည် လဲကျ၊

နိုင်ခြေ အထူး မြင့်မားသဖြင့် မစီးပါနှင့်။

အများသုံးလမ်းပန်းဆက်သွယ်ရေး အသုံးပြုသည်

အခါ ပုံမှန်ထက် အချိန်ပိုကြာပြီး လူကျပ်ခြင်းများ

ဖြစ်နိုင်သည်ဟု ယူဆရပါသည်။ ပြေးဆွဲမှုသတင်း

အချက်အလက်ကို အတည်ပြု၍ သွားလာကြပါစို့။

မည့်သည့် သွားလာရေးနည်းလမ်းမဆို နှင်း

အကြီးအကျယ်ကျခွင်း အဆိုးဆုံးအချိန်တွင်

အသုံးပြုပါက ကြီးမားသည့်



外国人のための体験型防災セミナー

災害時、母国との災害の違いや、言葉の問題などから、災害時要支援者と言われる外国人。

SPIRAでは、外国人住民に日本で起こる災害について理解を深めてもらい、いざ災害が起こった時にも自分で自分の身を守り(自助)、適切な行動(避難等)に繋がられるよう、防災について学ば体験型のセミナーを開催しています。

防災セミナーでは、災害の基礎知識に加え、避難所や防災グッズ、身近なものを使っての応急処置について学ぶ機会を提供しました。

日 時 2025年2月9日(日) 9:30~12:30

会場 ゆめぷらっと小城

参加者 技能実習生 36名

協力機関 小城市、ジョイソン・セイフティ・システムズ・ジャパン、
日本赤十字社佐賀県支部

日時 2025年2月16日(日) 9:30~12:30

会 場 東多久公民館

参加者 技能実習生 53名

協力機関 多久市、ジョイソン・セイフティ・システムズ・ジャパン、
日本赤十字社佐賀県支部

